

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス てととPlus		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職が多数在籍しているだけでなく、学校や保育の現場を経験しているスタッフも所属しているため、様々な角度で意見を交わした上で、支援プログラムを作成しております。	専門職による個別の支援も実施し、集団での活動も専門職の意見を取り入れながら活動を実施しております。また、運動面・言語面だけでなく、社会性を育てていくための活動も積極的に行っています。	専門職が中心となって研修を実施しております。専門職から他の職員へも研修を実施し、様々な要素を取り入れた活動を実施できるように企業内研修制度を設けています。
2	児童の得意なことは伸ばしていきながら、苦手なことはスモールステップで取り組み、楽しみながら活動を行えるよう、活動の内容を工夫しています。	身体を大きく動かす運動の時間、言語や箸・ハサミなどの道具の使い方の練習を行う机上の活動の時間、絵本の読み聞かせなどで活動内容を構成し、遊びの中で楽しみながら取り組めるように活動内容を考えて取り組んでいます。	当事業所で児童が取り組むことができた内容等をご家族にHUGにて報告しております。また、実際の療育の活動をSNSなどで情報提供したり、ご家族に対しては面談時にお伝えしています。
3	専門職による評価や職員からの児童の聞き取りを実施し、得た情報を元に個別支援計画の原案を作成している。その後、原案の内容を職員で検討し、個別支援計画の作成を行っている。	HPやInstagramを活用し、活動内容や連絡体制などの情報を発信している。	行事予定などは発信していないため、HPやInstagramでの発信を検討していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会のように、ご家族が一堂に会してコミュニケーションをとる会の実績がありません。保護者同士の交流不足。	他施設併用利用されているため一堂に会す場合も実施場所等で苦慮する部分がありました。	コミュニケーションをとることができる場の設定も実現できることが望ましいと考えています。今年度はキッチンカーイベント等も開催し、保護者・利用児には好評でしたので、定期的開催しながら保護者同士が交流できる場を設けていきたいと考えています。
2	HUGでの連絡は頻繁だが、双方向的な情報交換が不足していると感じています。モニタリング以外に個別面談の機会が少ない等コミュニケーション不足が伺えます。	事業所からの活動内容の報告はできていますが、保護者の方と双方向のやり取りができるように工夫が必要な点だと感じています。見学会・交流会を実施するにあたっての企画・運営する為のマンパワー不足が課題です。	定期的な見学会の実施(年数回)。個別相談会の開催(2~3ヶ月1回程度)。保護者交流会の開催(年1~2回)見学会では、療育の様子を具体的にてもらい、家庭での連携について説明をおこないます。個別相談会では、保護者の悩みに寄り添い、具体的なアドバイスを行っていきます。交流会では、テーマを設け、情報交換や親睦を深めていきます。
3	ペアトレーニングとして家族支援プログラムの研修会の実施が行っていません。	個別の面談時に児童の困り感に寄り添えるご家庭でも取り組める内容や声かけなどアドバイスを行っていきます。研修会の実施など大きなイベントとしては実施が出来ていない状況です。	SNSなどを活用して、ご家庭で取り組める内容等は伝達しております。SNSで取り上げた内容等をまとめて研修会を実施できるという点と考えています。